

令和5年度

人間生活学研究科（博士後期課程）

問題・出題の意図・解答のポイント

令和5年1月21日

高知県立大学大学院

外国語（英語）

〔1〕 次の英文を和訳しなさい。

(100点)

出典：Monahan, Kathleen: Intimate Partner Violence, Traumatic Brain Injury, and Social Work: Moving Forward. *Social Work*, 63 (2), pp. 179-181, 2018. doi: 10.1093/sw/swy005.より一部抜粋（出題の都合で一部改変した。）

【出題の意図】

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を読解するための英文の読解力をみる。

【解答のポイント】

以下の点が読解でき、適切に訳出されていること。

- ・ ソーシャルワーク専門職への教育的使命
- ・ 親密なパートナーからの暴力の重大性
- ・ 親密なパートナーからの暴力に対するソーシャルワークの視点、つまり人権と社会正義の視点
- ・ 親密なパートナーからの暴力への予防の取り組み

〔2〕 次の英文を和訳しなさい。

(100点)

出典：Preston, Robin R. & Wilson, Thad E.: Clinical Application 15.3 "Remodeling Disorders" in *Lippincott's Illustrated Reviews: Physiology*, Lippincott Williams & Wilkins, p.170, 2013. より抜粋（出題の都合で一部改変した。）

【出題の意図】

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための英文の読解力をみる。

【解答のポイント】

以下の点が正しく読解でき、適切に訳出されていること。

- ・ 骨粗鬆症について

[3] 次の英文を和訳しなさい。

(100点)

出典: Hayes, David: *Early Language Learning in Context: A Critical Socioeducational Perspective*.
Multilingual Matters, pp. 13-14, 2022.より抜粋 (出題の都合で一部改変した。)

【出題の意図】

大学院博士後期課程において必要となる英語専門雑誌の内容を理解するための英語読解力をみる。

【解答のポイント】

以下の点を読み取り、適切に訳出されていること。

- ・ 英語という言葉に対する人々の受け止め方、学校教育で特定の外国語が選ばれる理由について筆者が述べている内容を理解できている。
- ・ globalisation という語が暗示する意味についての Bourdieu (2001) の見解を理解できている。

領域専門試験（社会福祉学領域）

問

社会的排除について具体的な例を挙げながら説明したうえで、社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）について、その基本的な理念を含めて述べてください。具体例は、地域福祉、障害者福祉、児童・家庭福祉、高齢者福祉などの特定の分野を想定して、論じて構いません。

さらに、具体例として挙げた社会的排除の状態にある人を対象とした調査研究を行う際に留意すべき倫理的な課題と対応について論述してください。

(200点)

【出題の意図】

社会的排除は、社会的帰属の喪失状態を示す包括的な概念であり、その実態は経済的・社会的・文化的側面などから検討することができる。社会的包摂（ソーシャル・インクルージョン）は、これらの課題に対する社会政策的な取り組みであり、2000年に成立した社会福祉法の理念にもなっている。これらの専門知識と論理性、抽象的思考力、分析力、設問の内容を的確に把握し回答する能力等をみる。加えて、社会的排除の状態にある人を対象とした調査研究を行う際に、研究者として遵守すべき点について自覚し、論述できるかどうかをみる。

【解答のポイント】

現在社会における貧困、障害、虐待、社会的孤立等の多様な社会的課題について、社会的排除および社会的包摂の理念を用いて論述している。

社会的弱者等を対象とした調査研究において、研究者は調査される側への権利侵害を防止するとともに説明責任を果たすという原則について自覚し、具体的な対応について論述している。

領域専門試験（文化学領域）

問

語彙理論において、語を知っていること（語の知識）とはどのようなことであると考えられていますか。また、語の知識はコミュニケーション能力 (communicative competence) に対してどのように関連していると考えられますか。具体例を挙げながら論じなさい。さらに、英語を生活語としない環境で英語を学ぶ学習者、及び教師が直面する困難な点について、語の知識の獲得という観点から、具体例を挙げながら論じなさい。

(200 点)

【出題の意図】

語の知識についての理解、及びコミュニケーション能力における語の知識の位置づけについて、的確な概念的理解を有しているかどうかを問う。さらに、英語を生活語としない環境での英語学習・指導に関して直面する困難な点について、専門知識と論理性、抽象的思考力、分析力、独創性などを踏まえて論じることができるかをみる。

【解答のポイント】

- ・語の知識が複数の要素で構成されていることを、具体例を挙げて論述できている。
- ・語の知識とコミュニケーション能力との間の関連について、具体例を挙げて論述できている。
- ・英語を生活語としない環境での英語の語彙学習・指導に関して直面する困難な点について、具体例を挙げて論述できている。